

特定非営利活動法人 「NPOわかば」の紹介

特定非営利活動法人NPOわかば
理事長 森田 紀男

「NPOわかば」は、障がいのある人たちが、毎日の仕事や地域での様々な活動を通して、自立や共生社会の実現を目指している就労継続支援B型の作業所で、佐賀県鳥栖市にあります。

平成8年5月に鳥栖市社会福祉会館2階の6畳ひと間の小さな部屋で、2名でスタートしました。



朝日山の麓の新しい施設♪
新鳥栖駅が近く、自然もいっぱいです。

養護学校卒業後、施設がいっぱいで在宅を余儀なくされている人や、就労に支援が必要な人、リストラにあつて働く場所を無くした人たちを積極的に受け入れ、今では27名もの利用者さんが通うようになりました。利用者さんが増えたことにより、トイレが不足したり、静養室や相談室の確保が難しくなったりと、これまでの施設が手狭になってきたため、平成26年度の国庫補助事業を利用して、これまでと同じ鳥栖市幸津町内に新しい施設を建設し、平成27年5月に引っ越ししました。



地元の文化祭に大正琴演奏で呼んでいただきました。
今年はとりを務め、アンコールまでいただきました！

「NPOわかば」では、9:30～15:30の就業時間のなかで、できるだけたくさん外の仕事を取り入れて、地域の人たちと関わるようにしています。主なものに鳥栖市や基山町から委託を受けている駅や公園の清掃、佐賀県より委託を受けている特定信書便の仕事、ペットボトルやアルミ缶、古紙などの資源物の回収、リサイクルショップでの販売、香典返しやメール便、文房具の配達、企業からいただいている部品の組み立てなどを組み合わせて取り組んでいます。平成26年度の平均工賃は32,496円となり、少しずつですが着実に積み上げてきました。



「リサイクルショップわかば」 近所の方が立ち寄ってくださいたり、不要品を持ち寄ってください。

また、「NPOわかば」では次のことに力を入れています。

- ① 月に22日しっかりと出勤し、社会や地域の人たちと関わりながら働くことで、自信を付けていく。
- ② 大正琴の演奏や地域でのイベント、バザーなどに積極的に参加して、地域みなさんに障害者への理解を促していく。
- ③ 全員で工賃向上に積極的に取り組む。